



余暇部門 ゆめジュニア 《高塚》

記事 3

ゆめジュニアの活動を紹介したいと思います。ゆめジュニアの形が変わり、1年半ほどが経ちました。試行錯誤しながら活動を考えてきましたが、ようやく皆さん落ち着かれてきたかと思います。

活動の中では取り組み体験と、お楽しみイベントの2種類をご用意しています。まずは取り組みイベントでは、ゆめネットの実際の活動を取り組んでいただくことで、ゆめネットに慣れていただけるような取り組みです。続きましてお楽しみイベントでは、ショートステイの体験・BBQ・岐阜ファミリーパークなどにお出かけなどをすることで、お出かけにも慣れていただこうと考えています。

仲間の皆さんもイベントにとっても慣れてきたようで、作業をスムーズに行うことができたり、調理実習では華麗な包丁さばきをみせてくれたりと皆さん色々な場面で活躍されています！

これからも楽しい事、ゆめネットの事を知っていただけるようなイベントを色々考え、皆さんに経験していただけるようにしていきたいと思います。

未来へ！



季節イベント 成人式 《渡邊》 記事 4

新年がスタートした1月8日に、ゆめネット成人式が行われました。当日は天候にも恵まれ新成人の門出を盛大に祝うことができました。

今年は7名の仲間の皆さんが大人の仲間入りを果たされました。壇上では、緊張しながらもスーツや振り袖を着こなした新成人の晴れ姿がとても輝かしく今でも強く印象に残っています。

式典では新成人へのお祝いビデオが上映され、ゆめネット職員一同・各現場の仲間やダンスクラブから新成人への日頃の想いが伝わるような温かいメッセージで会場の雰囲気も和んでいました。新成人抱負の言葉では皆さん堂々と抱負を述べられている姿はとても立派でした。親御さんや職員への普段言えないような純粋な感謝の気持ちを言葉にされたりと、とても感動的でした。ご来場された方は強く心を打たれたのではないのでしょうか。

今年も、笑いあり涙ありのゆめネット成人式となりました。最後になりましたが、ご参加して頂いた方々に、この場をおかりしてお礼申し上げます。



素敵なお大人へ...



知らないことが、恐さや偏見につながります。知って頂くことが、ご縁の最初の一步です。

ゆめネットでは、年4回発行のゆめ通信を年間購読頂ける「ゆめネット通信会員」さんを新たに募集します。4月から3月までで（途中入会でも3月末まで）、年会費1,000円です。

【お申込み方法】

その1：最終ページのお問い合わせ先までご連絡ください

その2：郵便局に備え付けの払込取扱票に以下の要領でご記入頂き、1,000円のお支払いをお願いします

口座記号・口座番号：00850-6-68722 加入者名：社会福祉法人ゆめネットコアハウス

ご依頼人：おところ、お名前、ご連絡先をご記入ください

どうぞ、私たちのことを知ってください、そして関心をもってください！！

勝手ながら感謝状【特別編】

記事 5

本来なら、お世話になった恩人の元をお尋ねし、お写真をご一緒させていただくところなのですが、今回ご紹介をさせていただく方は、昨年故人となられてしまいました。

大変残念で悲しい思いでいっぱいです。心よりお悔やみ申し上げます。

(お名前を記してご紹介を申し上げたいところですが、故人に近い方より特にお名前を示してのご紹介はご遠慮したい旨を頂戴しましたので、詳細は伏せさせていただきます)

その恩人は、ゆめネットの前身である小規模作業所コアラハウス開設時より、厳しくも優しく応援をいただいていた方で、スタッフ間では親しみを込めて「女将さん(おかみさん)」と呼ばせていただいていた。

ゆめネットの昔からの利用者さんは、養護学校(現在は特別支援学校)在学時より、割り箸を箸袋に入れる軽作業に取り組んでいました。女将さんは、そんな割り箸の内職を開所よりずっと続けて私たちに手配していただき、日々の安定的な取り組みを支えてくださいました。

福祉職の私たちスタッフに仕事の厳しさを指導してくださりもしました。納品した箸に規格の違いがあれば、その場でやり直し、数え直し、袋への入れなおしを指示されることもありました。一方で、缶コーヒーをそっと渡してくださり、がんばり、と声をかけていただくこともありました。

本当はもっと早く丁寧に安く仕事をお願いできる場所もあったはずですが、私たちに出すための仕事をわざわざとっておいてくださり、それでもどうしても仕事がない時は、ごめんね、と声をかけてくださり、本当に優しい女将さんでした。

利用者さんが握手を求めて近づけば、よっしゃよっしゃとばかりに優しく応えていただきました。

また、女将さんにお困りのことがあり、私たちに相談をしてくださることもありました。立派な相談相手にはなっていなかったかもしれませんが、よかった、ありがとう、とおっしゃっていただき、ほんのほんのほんの少しかご恩返し出来たかなと思ったこともあります。

ご縁をいただいて、応援をいただいて間もなく20年になるのですが、もっともっと早くちゃんにご恩返ししたかったですし、何より感謝の気持ちをお伝えしたかったです。数多くの下請けのひとつである私たちですが、私はそれを超える優しさを感じていました。きっとたくさんの人を応援し、元気づけてくださった女将さんです。空から多くの後輩たちを見守るのに大わらわかと思えます。

女将さんにもしっかり見えるように、障害のある仲間たちとともにこれからもしっかりと元気に明るく進んでいきます。

長い間、本当にありがとうございました。

